



題字は小千谷高等学校の生徒の作品です。

(毎月発行)

まだ5月ですが、早くも梅雨入りの気配です。新型コロナウイルス関連の話題ばかりで、なかなか心が晴れるニュースが少ないですが、ワクチン接種を済ませて早くカラッとした夏を迎えたい気分です。しかし、これからは食中毒も多くなる季節ですので、できるだけお医者さんの世話にならないよう気を付けましょう。

R3年度事業計画

令和3年度の事業計画は下記の内容を計画しております。

プロジェクト名	事業内容
買い物支援プロジェクト	・よりどころショップの運営 ・おぢや食の陣(1回)、よりどころフェア(3回)
地域交流プロジェクト	・オカリナ教室(毎月1~2回) ・アートを楽しむ会(2回) ・歌声広場(1回)、歌声サロン(1回) ・体験観光
元気推進プロジェクト	・イベント企画
除雪支援プロジェクト	・ねこの手除雪応援隊
(事務局)	・東夢協だより発行(毎月)



※ 年度前半は新型コロナウイルス感染防止を優先するため、原則として各種イベントは年度後半に実施する計画ですが、感染状況等によっては中止する場合があります。

☆地域おこし協力隊とは？

小千谷市内で4名の地域おこし協力隊の隊員が活動されていることをご存じでしたか？

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化の進む地方へ、都市部から意欲ある住民が移住し、地域力の維持・強化を図るために様々な地域支援を行う制度です。隊員は最長3年間の任期中にそれぞれの担当する地区の課題に取り組み、任期終了後にはその地区への定住が期待されています。

小千谷市にも平成25年以降現在まで累計21名の協力隊員が赴任し、これまでに12名の方が小千谷市に定住し、それぞれの事業に従事されています。



～☆☆☆☆～ 団体サポート会員様紹介コーナー ～☆☆☆☆～

ご家庭の電気も お店の電気も
電気のことなら何でもご相談ください。



電気工事設計・施工

株式会社 研電舎

小千谷市東栄3丁目1番20号
TEL (0258) 82-2203
FAX (0258) 83-4674

おかず・玉子焼
野菜・果物

<営業日>

東栄店(よりどころ内)
火曜日・木曜日 10:00~
木津本店 日曜日 8:00~

～小千谷の鮭ちまき～

竹美 ☎82-6789

手あみニットサロン よりどころ

◎毎週木曜日
午前 10:00~12:00
東栄会館 1階

◎参加費 700円
(茶菓付き)



お問い合わせ先:
☎83-4194(よりどころショップ)

本シリーズでは、小千谷市総合文化協会の発行する「小千谷文化」の中から、主に東小千谷に関する記事を紹介しします。今回は、平成19年3月30日発行の第186・187号の木野本銚子さん（旭町）作成の記事「東大通のいま・むかし」の2回目です。本記事は、木野本さんが平成16年の東越地震の後に東大通商店街の街並み図を見たことがきっかけとなり、往時のことに詳しい商店街の方にお話をお伺った内容を中心に構成されています。時代は小千谷駅ができた大正から昭和40年代にわたっていますが、今回は小千谷駅ができた大正時代について書かれた部分を抜粋して紹介します。

<同誌20頁より本文の一部を引用、写真を転載>

鉄道と発電所の恩恵

（省略）大正7年12月に宮内—東小千谷間の鉄道敷設工事が始まった。「鉄道の通るところ街が開ける」と言われるように、大正9年11月1日、上越北線東小千谷—宮内間が開業し、停車場（後の小千谷駅）の建設と同時に停車場通りの拡張工事が始まった。

各地から集まった工事関係者や人夫たちによって、山寺山の裾野を切り開き、停車場の建物が作られ、停車場通りの整備に取りかかった。

ベト（土）をトロッコで運びやすいように土盛りしながら坂道を作り、中央通り、旭橋へとつなげた。橋は大水で流されないように高く盛り上げ、西詰から分岐する千谷川方面と、川岸町・元町方面への取り付け道路を作った。東大通は道のほうが高く、二階から出入りする商店が多いのはこの時の工事によるもので、この地形が今回の地震にも影響したと言われる。



鉄道が通り始めた頃の停車場通り（大正末期）

停車場通りの風景

大正13年12月、停車場通りの完成に伴い旅館（当時旅籠と言っていた）や、運送店、食堂、衣料品店等が軒を並べ始めた。当時は今のような自動車社会と違って、人の足で動き、稼ぐ時代なので足袋や下駄を扱う店が流行った。

駅留めで貨物輸送された荷物を扱う運送業者や、魚沼三郡の塩物、干物などを扱う海産物卸問屋「小田嶋商店」が駅前に店を構えたものこの頃である。

当時、小田嶋商店のように新型トラックで荷物を運ぶところは珍しく、大方は大八車であった。合同運送（後の日通）には、大八車で荷物を運ぶ「バンプ」と言われる人が三十人ほどいた。ねじりハチマキ、腹掛けドンブリ、タカジョウ（地下足袋）姿で、大八車に商店の名札がついたコモを積み、砂利道の停車場通りを駆け抜けた。その姿は勇ましく、店屋のおかみさん方から「バンプしょ（衆）」と親しまれ、当時の花形であった。

また、鉄道を利用する一般乗降客も増え、特に上越北線の三等車は料金が安くて人気があり、蒸気機関車に乗って旅に出かける人たちの姿も見られるようになる。

[次号へ続く]

～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～

東夢協お知らせコーナー

～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～

三仏生繊維（株）

〒947-0051 小千谷市三仏生4020
☎ 83-2195 FAX 83-4633

よりどころにて第2・4火曜日営業中

整心・整体浄（じょう）

整体師 平沢 弘美
☎ 090-4617-6268

5～6月のイベント

6月 3日（木） オカリナ教室

6月 17日（木） オカリナ教室

会場 東栄会館2階
時間 10:00～11:30
参加費 700円（会員）



発行者

東小千谷夢あふれるまちづくり
活性化協議会（東夢協）

代表者： 会長 新保 和之

編集者： 金井 信雄

住 所： 小千谷市東栄1-5-3

連絡先： 事務局 ☎ 83-4194

メール： info@toumukyo.jp

URL： http://toumukyo.jp